

2027 年度 同志社大学 トピック科目（企業・団体提案型）募集要領

同志社大学では時代・社会の情勢等に即したタイムリーな事象・話題をテーマとして取り上げる「トピック科目」を2026 年度より設置しています。

本科目は、現代における先端のビジネス、テクノロジー、社会課題に関連するテーマを取り上げます。最長 2 年で内容を刷新し、常に最新のトピックを提供します。取り組むテーマ・授業を、企業や地域社会の団体の方々に提案いただき、受講生は現代的な知識や視点に触れ、次世代を生きるために必要なスキルと視野を広げることを目指します。講義の形式は問いません。知識や理論の修得を重視する場合は講義形式、また実践や体験を重視する場合は、グループワークやフィールドワーク・PBL 等、授業内容に応じて検討ください。

つきましては、以下の「トピック科目」設置の趣旨にご賛同いただき、本学の専任教員と共にご担当・ご指導いただける企業および団体の方から、テーマを公募いたします。応募されたすべてのテーマは学内で厳正な審査を経て、採択・不採択を決定いたします。

「トピック科目」設置の趣旨

- ・時代・社会の情勢等に即したタイムリーな事象・話題をテーマとして取り上げ、多様な社会生活に対応するため、知識を習得し見識を広げることを目的に設置する。
- ・現代的な課題を取り上げ、多様な見方や考え方があることを理解し、答えのない課題を多面的・多角的に考え、批判的思考の醸成にもつなげる。
- ・座学形式、オンデマンド形式、PBL 型等、授業の形式は問わない。

募集対象

- ・設置の趣旨に賛同し、本学専任教員と協力して科目を担当していただける企業、団体を対象とします。ただし、科目を担当いただける科目担当者の方が近畿圏外在住となる場合は、学内規定により対象外となります。※近畿圏外在住の場合でも、遠隔授業等により交通費や宿泊費が発生しない場合はこの限りとはなりません。※寄付講座として開講する場合は、トピック科目への応募はできません。
- ・提出していただいたテーマについては、年度ごとに応募いただき、審査・採択を行うことを原則とします。また、同一テーマ提案者が、すでに開講された科目と同一内容のテーマで応募される場合、採択は 2 回を上限とします。

実施条件

1) 募集テーマについて

- ・「トピック科目」設置の趣旨に合致した内容であれば結構です。

2) 科目の条件

科目運営体制

- ・授業を主に担当し、事務からの連絡の窓口となっていたいただける科目担当者を 1 名選出ください。
- ・本学の専任教員 1 名が「科目代表者」として科目の運営を代表します。科目代表者は授業運営をサポートします。科目担当者の方は応募時点で科目代表者となる教員が見つからない場合は、本学専任教員に対して募集を行います。期間内に科目代表者が見つからない場合は、不採択となります。

授業運営費

- ・上限等の定められた授業運営予算は設けておりませんが、授業運営に関わる必要経費は使用可能です。応募時に概ねの必要経費を記載ください。使用可能範囲は、謝礼（学内規定にもとづく金額でのゲストスピーカーの謝礼、交通費）、文具雑品費、図書費、印刷製本費、授業実施に伴う交通費（通勤経路外を支給）および用品費です。会合費は含まれません。フィールドワーク等に伴う学生にかかる交通費は学生の自己負担になります。

授業期間

- ・授業の開講期間は春学期(4月～7月)、秋学期(10月～翌年1月)のどちらかになります。数日間で実施する集中形式の開講はできません。本学では、通常教室での授業は、90分13回の教室での授業と2回分(180分)のオンデマンド配信で構成する授業を基本としています。オンデマンド配信は、DO Week「イントロダクションを含む初回授業」と「フォローアップ授業」から構成されます。

■2026年度授業期間(ご参考まで)

春学期:2026年4月11日(土)～7月17日(金)

(DO Week「イントロダクションを含む初回授業」期間:2026年4月4日(土)～4月10日(金))

秋学期:2026年10月2日(金)～2027年1月18日(月)

(DO Week「イントロダクションを含む初回授業」期間:2026年9月25日(金)～10月1日(木))

- ※「フォローアップ授業」は、第2回目(面接授業1回目)以降、授業期間終了後成績評価を終えるまでの期間中に実施が可能です。

2回分(180分)のオンデマンド配信(DO Week「イントロダクションを含む初回授業」と「フォローアップ授業」)について
※180分には学生が授業動画の視聴中に取り組む課題演習等の時間を含めてよく、必ずしも授業動画だけで180分とする必要はありません。

※必ずしも90分×2回ではなく、質問への回答や授業のフォローアップなどを複数回に分けて配信し、合計180分となるよう調整することも可能です。

※授業時間にあたるため、配信内容が授業時間外学習とならないよう注意が必要です。

※シラバスの授業計画では、課題演習等の時間を含めて合計180分となることを明確にしてください。

具体的な授業期間は以下をご参照ください。

https://www.doshisha.ac.jp/students/calendar_undergrad/index.html

曜日、講時

- ・講義時間は以下の通りです。1講義の時間は90分です。

講時	授業時間
1	9:00～10:30
2	10:45～12:15
3	13:10～14:40
4	14:55～16:25
5	16:40～18:10
6	18:25～19:55
7	20:10～21:40

授業対象学生

- ・授業の対象は1年次生～4年次生の学部生です。30名以上で履修生を募集するため、最低30名以上が受講可能な科目設計としてください。なお、開講には10名以上の学生の登録が必要です。10名未満の場合は不開講となります。
- ・学生の登録者数が10名未満の場合は、不開講となります。不開講となった場合は、当該科目の嘱託講師給および出講手当相当額を3か月分(春学期科目の場合は4～6月分、秋学期科目の場合は10～12月分)を支給します。

待遇

- ・科目担当者は、人件審議の上、同志社大学嘱託講師として本学から委嘱させていただき、本学の規定に基づき嘱託講師給を支給いたします。

※委嘱する年度の4月1日現在満70歳未満であることが必要です。

※本学の規定に則り、委嘱を行います。これまで学校法人同志社での勤務経験がある場合、雇用年数・条件などにより嘱託講師委嘱ができない場合があります。テーマの応募時に、学校法人同志社での勤務経験の有無をお知らせください。勤務経験のある場合、当方にて委嘱の可否を確認し、回答します。

※大学院生は、原則対象外です。ただし、経歴や業績を考慮し特段の事情がある場合には、嘱託講師として委嘱することがあります。

3) テーマの選定について

- ・ご応募いただいた書類を学内で審議します。必要に応じて Web 形式での打合せやメールでのお問い合わせ等をさせて頂く場合がございます。
- ・当方の意向により、開講校地・学期など変更をお願いする場合があります。
- ・審査結果はメールにて、採否に関わらずご連絡いたします。なお審査結果に関する問合せには一切応じませんので、ご了承ください。

4) 成績評価について

- ・科目代表者の教員を中心に、学生の成績評価もご担当願います。

5) 応募回数について

- ・同一テーマでの継続での応募は2回を上限といたします。なお、応募内容の審査は、同一テーマであっても公募ごとに行います。

6) 授業の成果物等の所有権、知的財産権について

- ・本学と科目協力者所属団体・企業との間で協議の上、決定させていただきます。

応募要領

提出期間

提出期間：2026年4月1日(水)～5月13日(水)

テーマ選定結果通知：2026年7月中

最終審査結果通知：2026年11月下旬頃

※科目代表者が見つからず不採択となった場合は、2026年10月中にご連絡いたします。

提出書類

- ・テーマ応募の Web フォームからご入力ください。
- ・1次審査通過後、科目担当者の方の嘱託講師任用の人件審議手続きのため、履歴書、業績書をご提出いただきます。

お問合せ先

ご不明な点等ございましたら、以下にご連絡いただきますようお願いいたします。

同志社大学 教育支援機構 全学共通教養教育センター事務室

TEL:075-251-3326

Mail:ji-kyoyo@mail.doshisha.ac.jp